

Fontaine

発行日 2019年4月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

魅力あふれる自泉会館へどうぞ

岸和田市立自泉会館は1932年（昭和7年）に、岸和田紡績株式会社（現ユニチカ）の創業者寺田甚興の偉業をたたえ二代目社長の寺田甚吉が会社の倶楽部施設として設立、社内教育や親睦会、一般の文化行事にも利用されていました。1943年（昭和18年）に岸和田市に寄贈され、市の集会場、市議会議場としての使用、また岸和田商工会議所への貸与などの経緯を経て1982年（昭和57年）から多目的文化施設として利用されています。

この建物は1997年（平成9年）近世スパニッシュ様式の学術的価値の高い名建築として国の登録有形文化財に登録されました。

岸和田文化事業協会は2006年（平成18年）から自泉会館の指定管理者となり、館の管理に従事、会の活動拠点とし諸文化活動を展開しています。この建物の魅力・見どころをご紹介します。

アプローチから玄関ホールへ

門から続く石畳の先に白い漆喰塗りの壁にオレンジ色のスペイン瓦を載く切妻屋根の建物が現れます。車寄せの6本の円柱はトスカナ式です。玄関のガラスをはめ込んだ重厚かつ美しい細工のドアを入ると半円状に2階に上がる階段と、登り口横の色鮮やかなイスラム風タイルが目にとまります。壁はトラバーチンという大理石の一種で、目地には金メッキが施され品の良い豪華さを演出しています。



魅惑のホール

ホールには大きな飾り暖炉と、その両側に天井まで届く弓形の張り出し窓があります。暖炉の中面は玄関ホールと同じタイルが使われています。

ホールは2層分の大きな空間で、一見石積みのように見える壁の下層は羽目板張りで響きが良く、上層はテックス張りで吸音効果があります。これらの効果でホールの音の響きは素晴らしく、コンサートによく利用されています。

屋根の勾配に沿う船底形の天井はコンクリートに漆喰とペンキで木目調に仕上げた大きな梁で支えられ、この梁にも細やかな装飾が施されています。ホール東南部にはエディキュラ（出入り口風の装飾）があり、ここが正面であることを強調しています。本来、教会の祭壇のようなエディキュラは三角形の頂部は閉じています。しかし当ホールのエディキュラは三角形の頂部が開いたデザインで、リーフのような彫り物が装飾されています。後方を見上げると弧を描いてギャラリーがあり、向かって左側から階段が伸びています。（建物が古いためこの階段とギャラリーは現在使用できません）。ホールは、シャンデリアと間接照明の柔らかい光で満たされた空間となっています。

設計者について

渡辺 節（1884～1967）

1908年（明治41年）東京帝国大学建築学科を卒業。1916年（大正5年）より大阪・東京で建築事務所を開設。これ以前の仕事では京都駅舎がよく知られる。大阪の花形産業である紡績関係の社屋の設計や神戸の商船会社関係の仕事が多く依頼された。寺田甚吉は自泉会館以前に自宅の設計、自泉会館以後もいくつかの設計を依頼している。大阪市にある日本綿業会館はよく親しまれている。

見どころのたくさんある自泉会館を
ぜひ見学におこしください。

注）館の使用があるときは見学できません。ご了承ください。



はじめて知る「岸和田煉瓦」

I 日英同盟と岸和田煉瓦 —秘密条項にも出てこない秘密—



重要文化財 旧下関英国領事館

岸和田煉瓦創業家とは関係のない 山岡 邦章

岸和田煉瓦…もはや岸和田市民でも大多数が知らない、一部のマニアの間でのみ知られる煉瓦でしょう。これは並松周辺にあった「岸和田煉瓦株式会社」によって生産された煉瓦で、明治26年創業の歴史を持ちます。さらにその前身は、明治20年創業の「第一煉瓦株式会社」、さらには士族授産事業として明治5年にはじめられた「煉瓦製造所」にまでさかのぼります。日本の煉瓦の草分け的存在で、かつ西日本では大阪窯業株式会社と並び、圧倒的なシェアを誇った煉瓦会社だったのです。その販路は遠く九州、下関まで及び、私自身が確認している最西端は、下関の唐戸に建つ旧英国領事館になります。この英国領事館は、明治39年に竣工した建物で、近年行われた半解体修理によって岸和田煉瓦の上等品が使用されていることがわかっています。

岸和田煉瓦株式会社は旧士族の山岡尹方ただかたが興した会社で、この山岡は非常に筆まめだったようでたくさんの「備忘録」を残しています。しかし、この英国領事館に煉瓦を納入したという記事は彼の備忘録などには表れてこないのです。ここに一つの謎があります。山岡は英国領事館の建築の時期に、数度下関の唐戸を訪れています。しかし散髪をしたことや、何を食べたかの記録はあるのですが、行った目的、場所は一切触れていません。他の取引の場合はきちんと相手方名や納入数、金額などを控えているにも関わらず、です。これはいったいどういうことでしょうか？

ここから先は推測です。しかし、ある程度の確証を持った推測です。この英国領事館は

いわゆる「日英同盟」に基づき、意図あって築かれたものです。しかしこの日英同盟には、教科書には出てこない秘密条項（現在は公開はされています）があり、日本は優先的に良質の石炭（例：志免町の無煙炭）やその他物資を英国に融通するという内容が含まれています。そこにこの岸和田煉瓦が含まれるのではないかとというのが私の推測なのです。

なぜなら、この英国領事館から見つかる煉瓦は、地元岸和田でも見つからない「岸×泉」という刻印の入った大変良質のもので、完全手整形の上等品ばかりなのです。このタイプの煉瓦は地元では今まで見つかっておらず、他には旧陸軍の施設などで見つかります。つまり軍や同盟国に絞り極上品を納入していたのです。

記録に出てこないこと、地元岸和田でも見つからないような極上品を使用していることなど、日英同盟秘密条項のニオイがしませんか？当時の大帝国ロシアとの戦いに勝った一要因として岸和田煉瓦が英国に貢献していた可能性がある。これまで知られていない岸和田です。

ちなみに下関の唐戸は近代の床屋発祥の地で、山岡尹方が散髪をしたと記録したのはおそらく発祥後10年くらい。とてもハイカラな男だったのかも知れません。

【2019年11月予定】

仮題

「知ってほしい『煉瓦製造の魅力』」

基調講演・パネルディスカッション・
見学会を開催します。



めざせ！ 岸和田マイスター

【JR 阪和線界限編 I】

監修：江間 一夫

豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。今回は、JR阪和線界限《久米田池・久米田寺》編です。

1 久米田寺の宗旨は？

- A 真言宗
- B 浄土宗
- C 禅宗

2 久米田池の起工者は

- A 弘法大師
- B 橋諸兄
- C 行基

3 久米田寺の中興に尽力した武将は？

- A 安東蓮聖(あんどうれんしょう)
- B 三好実休(みよしじっきゅう)
- C 楠木正成

4 久米田寺の塔頭でないのは？

- A 華嚴院(けごんいん)
- B 観蔵院
- C 五大院

5 久米田寺の院号は？

- A 宝池院(ほうちいん)
- B 聖護院
- C 隆池院(りゅうちいん)



6 久米田池堤で久米田寺門前にある地蔵は？

- A 火消地蔵
- B 延命地蔵
- C 子安地蔵



7 久米田寺靖霊殿^{せいれいでん}の御霊骨は誰のものですか？

- A 空海
- B 玄奘三蔵
- C 行基

8 八木祭礼の行基参りで参詣する堂宇は？

- A 金堂
- B 開山堂
- C 多宝塔

9 久米田合戦の舞台となった古墳は？

- A 貝吹山古墳(かいふきやまこふん)
- B 摩湯山古墳
- C 大山大塚古墳

10 次の3つの溜池で満水面積が最大の池は？

- A 光明池
- B 狭山池
- C 久米田池

※解答は、7面に掲載しています。

岸和田慢歩Ⅰ わが町再発見

実施日：2018年11月13日(火)・12月11日(火)・2019年1月8日(火)

お散歩をするように自分たちの町を歩いてみよう。
気持ちよく歩ける2時間くらいで。

そんなことを考えていたら、以前このふおんで一ぬに掲載されていた「岸和田慢歩」がぴったりだと気づいたのです。そこで、講師を江間一夫氏にお願いし、3回に分けて旧市街を歩くことにしました。

「岸和田城下」は野村石橋（下野町）から南町石橋まで15丁の範囲で、今も小さな石橋がかかっています。堺町の桁形や欄干橋はおなじみの場所。岸和田は町方衆の力が強かったという話を聞きながら歩いて行きます。今の岸和田祭の勇壮で盛大なことは、そんな昔から受け継がれてきたものなんだと、改めて誇りに思いました。

宮本町界限には細い道路沿いに大神宮があります。「日待講」と書かれた石柱にお伊勢参りに出かけた「講」の人たちの無事な帰りを待つ思いが込められて

おり、当時の暮らしぶりがしのばれました。

五軒家町には、色々な宗派のお寺がたくさん建っています。2020年大河ドラマの主人公明智光秀の肖像画が、日本で唯一残されていることで有名な本徳寺もここに 있습니다。ひとつの地域にお寺を集めているのは、お城を守る城壁の役割のためなのだとか。城下町ならではのエピソードに、岸和田がたどってきた長い歴史を再認識しました。

いつもは車や自転車でスーッと過ぎていく道ですが、ゆっくり歩いて行くと様々なものに出会えます。路地のお地蔵様が今も大切にお祀りされていること。古い古い道標があること。そのたびに感心したり驚いたり、とても楽しいお散歩になりました。行く先々で見つかる興味深い発見は、まだまだきつといくつもあはず。それを探す小さな小さな旅に、また出かけてみたいと思ったのでした。



今後の予定

・岸和田慢歩Ⅱ —わが町再発見—

2019年4月9日(火)、5月14日(火)、6月11日(火) 【定員15名】

※募集は終了しております。ご了承ください。

・岸和田慢歩Ⅲ —わが町再発見—

2019年11月12日、2020年1月を予定しています。

※募集は、10月ぐらいの予定です。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

昔話は心のふるさと

「泉州の昔話を語る・やまどりクラブ」



「泉州の昔話を語るやまどりクラブ」（以下やまどりクラブ）は公民館で実施された3年にわたる「昔話を語りませんか」の講座（講師 阿部榮子）に参加した講座生の手によって平成15年4月に結成されました。

やまどりクラブは、泉州に伝わる昔話や伝説を集め、語り、広める活動をしています。

現在会員は10名。60代から80代の女性だけの構成です。もちろん男性会員も大歓迎です。例会は月1回、第2土曜日の午後、山直市民センターにて行っています。会員が持ち寄った昔話を語ったり、お話会の計画を立てたりします。又、お話会で使う小物を作ることもあります。

例会とは別に、ご依頼に応じて、老人会・女性学級・高齢者大学などでお話をさせていただいています。又高齢者福祉施設への「訪問お話会」も毎月行っています。そして年度末には、1年間の活動のまとめとして発表会を開催します。

毎年行っている見学会も楽しみの一つです。昔話の舞台になっている場所に立ち、お話の歴史的背景を調べたり史跡を巡ったりすることで、語りに深みが増してきます。

昨年は山滝地区を巡りました。ランチの後、山直中町にある麻福田磨の祠を見学しました。祠を守っている近くの方からお話を伺った後、柿のさし入れ

まで頂きました。祠を守る熱い思いとおいしい柿に心が満たされ、こんな触れ合いのある岸和田って“ほんまええなぁ”と思いました。

泉州には実に多くの昔話が伝わっています。市制70周年記念として発刊された「岸和田むかし話」や平成28年に子ども向け郷土資料として作成された「岸和田の昔話」などの本の他にも、郷土史や地域の方から聞き取ったお話もあります。

語る時には、自分が「おもしろい・語りたい・伝えたい」と思うお話を選び練習します。

間のとり方・声の大小・岸和田ことばや泉州ことばの使い方…聞き手がイメージしやすいように語ることを心がけます。でもこれらは本当にむづかしい。くり返し・くり返しの練習となります。

お話会では聞き手の反応が直接伝わってきます。笑顔や頷き、拍手や「良かったよ」のひとことが、私たち語り手に大きな力を与えてくれます。もっと語りたいという気持ちにさせてくれます。

お話を届ける活動は聞き手と語り手とが楽しい時間を共有する場になっているのです。

平成31年3月16日「やまどりクラブ第16回発表会」が開催されました。有り難いことに沢山の方が足を運んでくださり、楽しいお話会になりました。

私たち「やまどりクラブ」はこれからも泉州の昔話を語ってまいります。（取材：小島・小末）



生の声で ほっこり

心に届くふるさとの昔話を

私たちと一緒に語ってみませんか！

【例会】

毎月第2土曜日 PM1:30～4:00

山直市民センター 2F 第2会議室



【グランドピアノ】

畠 みゆき



「グランドピアノ、誰かもらってくれませんか？」
みなさん、どうしますか？
欲しいけど…置くところがない…。
ピアニストかピアノ教室とかでもなければ、グランドピアノなんて、とてもとても…！

ちょうど私の勤める保育園が建て替えをしていて、ホールに置けたらいいナァ〜と。子どもたちには電子ピアノではなく本物の音を聴かせたいので、新しいホールができたならアップライトのピアノを買おう！とっていました。

職員に話をすると、移動させたり使いやすさとか考えたら…と少し躊躇されましたが、運搬費だけでグランドピアノがもらえる！どう考えてもこのチャンスに逃すことはない!! といただくことに。

木のぬくもりが感じられる新しいホールに、なんとぴったりの木目調のグランドピアノ。

最初は敬遠していた職員も弾いてみればやっぱり違う。音はいいし響きもちがう。子どもたちの歌も上手に聞こえる!?

大切に弾いてもらえたら…と、よろこんでくれたグランドピアノの持ち主さん。これからも大事にして、子どもたちに素敵な音を届けたいと思っています。

【フラとの出会い】

曾我 和子



ハワイの伝統的で神聖な踊りであるフラは、世界一美しい踊りとも言われています。

文字を持たなかったハワイの人々が、神への信仰の表現や、体験、出来事を後世に伝える手段として、フラ＝踊りが広まりました。それがフラの歴史の始まりとなります。

私たちがよく口にするフラダンス、実はフラもダンスも両方踊るという意味になるので「フラダンス」は、ダンス、ダンスという意味になります。

ハワイ語では「フラ (hula)」と呼ぶのが正しいのですが、一般的にはフラダンスと言われています。

フラには、ダンス・演奏・詠唱・歌唱の全てが含まれています。

私も、最初訳も解らずハワイの踊りを習う、と軽い気持ちで始めましたが、本当のフラというのは精神的で奥深いものです。

今は、フラ大好きな仲間が集まりレッスンに、お喋りにと、どちらに比重が大きいのかと笑っちゃう時がありますが、これも縁。

心地良い音楽、ゆったりとした動き、年齢に関係なく楽しくレッスンしています。

2年前、自泉会館でフラ仲間が集まり発表会をも行いました。

今年もお楽しみ会を開催したいと思いますが、曲の意味をどこまで表現でき皆さんに伝えることができるのか、その日まで日々レッスンに励み努力する所存でございます。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

子どもたちによるオペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」

平成31年1月27日(日)午後2時開演

入場者数 105名

〈皆さんの声〉

- ◆子どもたちの声がとても素直できれいでした。こういうオペレッタは練習が大変だったと思います。楽しい企画でした。
- ◆とても素晴らしい企画だと思います。練習は大変だったと思いますが、子どもたちにとって素晴らしい経験になったと思います。
- ◆たくさん熱心にお稽古した結果が見事に発表できて、とても素晴らしいです。
- ◆出演のお子様達の希望に満ちた、喜びの演技力が伝わってきました。
- ◆建物は凄く素敵で感動しました。演劇するには狭いと思いました。
- ◆とても楽しかったです。座席のゆとりが欲しかったです。



野上貴子レクチャー&交流コンサート

平成31年2月1日(金)午後6時開演

入場者数 82名

〈皆さんの声〉

- ◆美味しいケーキも頂き、先生の楽しいトークも聴かせて頂き、お腹も心も満腹になりました。
- ◆道下先生のピアノコーナーは空気が変し、力強さと美しさに溢れる演奏に心が震えました。最後ドレスアップされた野上先生とてもステキでした。圧巻の演奏で歌の世界に引き込まれました。
- ◆声楽練習、お茶会、コンサートと充実した内容でした。
- ◆めっちゃアットホームな催しで、岸和田は文化の香りがたくさんします。大阪市にも分けてください。
- ◆少し変わった企画で楽しかったです。



マリオネットの小さな作品集

平成31年2月23日(土)午後2時開演

入場者数 61名

〈皆さんの声〉

- ◆子どもと一緒に観ましたが、子どもがとても喜ぶまた観たいといっています。
- ◆初めて来ましたがとても素敵なホールでした。またココンさんと呼んでください。
- ◆演目にも工夫があり、語り、人形遣いも見事でした。



糸による奇妙な夜

平成31年2月23日(土) 午後7時開演

入場者数 52名

〈皆さんの声〉

- ◆繊細な動きと音楽、どれも素敵でした。
- ◆昔テレビで見た操り人形のイメージがありましたが、すごく進化したのだと感動しました。
- ◆人形劇で図形を動かす作品は初めてで非常に面白かったです。



第12回フレッシュプレミアムコンサート 未来へ～ここから～

平成31年3月10日(日) 午後3時開演

入場者数 120名 会場 マドカホール

〈皆さんの声〉

- ◆皆さんレベルが高く、聴いていて楽しかったです。
- ◆同じピアノでも、これくらい音色に違いがあるのかと感動しました。
- ◆歌、ピアノ、ヴァイオリンといろいろ聴くことができ楽しかった。楽器、年齢にかかわらず素晴らしい演奏は、聴き手も集中して聞くことができました。オーディエンス賞の企画もよかったです。



南～東南アジアの伝統舞踊 脈々と～南インド、東インド、ジャワ、バリより

平成31年3月16日(土) 午後5時開演

入場者数 60名

〈皆さんの声〉

- ◆インド舞踊を初めて拝見しましたが、鈴の音がとても印象に残りました。すべての踊りがどこか似ているところがあり違いがあり、それぞれの踊りを楽しむことができました。
- ◆司会の福井さんのお話で、舞台をより楽しむことができました。
- ◆会場がレトロでアジアの舞踊とマッチしていてとても素敵でした。



見える朗読劇「岸和田四季物語」

平成31年3月23日(土)午後2時開演

入場者数 157名 会場 マドカホール

〈皆さんの声〉

- ◆面をかぶっているのに、心情も表情も充分に感じられ引き込まれました。朗読にも味がありました。参加したいと思いました。
- ◆とても良い内容とアイデアの公演で感動しました。それぞれのパートの集結の完成度の高さにとても感動でした。
- ◆音響が興味深い。仮面は少し怖いけど慣れると面白い。背景もなく地味だが変わった劇だった。物語は地元のもので解りやすい。



2019年5月～2019年8月 今後の事業予定

令和元年(2019年)	※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください。
5月14日(火)	岸和田慢歩Ⅱ 小栗街道(募集終了)
5月25日(土)	令和元年度 定時総会
6月11日(火)	岸和田慢歩Ⅱ 府中街道(募集終了)
6月22日(土)	第8回自泉ジュニアオーディション
6月29日(土)	第57回自泉フレッシュコンサート
8月3日(土)	第6回自泉Re.フレッシュコンサート
8月18日(日)	第8回自泉ジュニアコンサート

【3面「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

① A ② C ③ A ④ B ⑤ C ⑥ A ⑦ B ⑧ B ⑨ A ⑩ C

お願い

岸和田文化事業協会に取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務局まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

令和元年度 定時総会開催

令和元年度定時総会を
下記の要領で開催します。

日 時：令和元年5月25日(土)
午後2時より
場 所：岸和田市立自泉会館

- ①平成30年度事業・決算報告
- ②令和元年度事業計画・予算案審議

第57回 自泉フレッシュコンサート

日 時：令和元年6月29日(土)
午後6時30分開演(30分前開場)
会 場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：藤山 愛子(ピアノ)
内山 歌寿美(ソプラノ)
佐々木 涼輔(テノール)
入場料：一般前売1,200円(当日200円増)
会員前売1,000円(当日200円増)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

「第70回岸和田市市展」への 出品を募集いたします 自作未発表のものに限りです

- ・資 格 平成16年4月1日以前に生まれた方
- ・作品規格、搬入出口等 表のとおり
- ・搬入時間 午後1時～7時
- ・搬出時間 午後4時～7時
- ・出 品 料 500円
- ・搬入場所 マドカホール展示場(荒木町1丁目)

※壁面展示可能作品は、吊るせる状態で出品してください。
※詳しくはマドカホール配布、又はマドカホールホームページ記載の作品募集要領をご覧ください。

会 期	部 門	体 裁	大きさ(cm)	出品点数	搬入日	搬出日
1 期	洋画	額装 (ガラス不可)	20号(72.7×)～50号(116.7×)	1点	5/7(火)、 5/8(水)	5/19(日)
		版画	自由			
2 期	写真	パネル張り・額装 (ガラス・アクリル不可)	半切、A3以上(マット内寸長辺38以上) 組写真 100×80以内	1点	5/21(火)、 5/22(水)	6/2(日)
		自由	自由			
3 期	書	額装・軸装・裱装・衝立・ 屏風・帖・巻物・刻字・篆刻	仕上り寸法 180×180又は250×70以内(縦横自由)	1点	6/4(火)、 6/5(水)	6/16(日)
		自由	自由			
4 期	日本画	額装 (ガラス・アクリル不可)	10号(53×)～60号(130.3×) ※落款のある作品は受付不可	1点	6/18(火)、 6/19(水)	6/30(日)
		自由 ※並立て等の装飾的付属品不可	自由			
4 期	俳画	額装・軸装	6号色紙大(61×31.7)以上	2点以内	6/18(火)、 6/19(水)	6/30(日)
		自由	自由			

問合せ先：マドカホール 電話：443-3800 月曜日休館

2019年度(2019年4月～2020年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp



第8回 JISEN JUNIOR CONCERT

自泉ジュニアコンサート

オーディションで選ばれた小学生～高校生によるコンサート

日 時 令和元年8月18日(日)
午後2時開演(開場30分前)

会 場 岸和田市立自泉会館ホール
出演者 6月22日(土)のオーディションで選ばれた方
入場料 無 料(当日先着100名まで)

出演者を募集します

募集要項

ピアノ・声楽・弦楽器・木管楽器演奏に限る。
(複数名での演奏も可、ただしコーラス等は不可)
対象年齢 小学生～高校生
参 加 費 2,000円
出演の為のオーディションがあります。

コンサートで演奏する1曲(8分まで)をご用意ください。
オーディションでは、3分程度で演奏を中断していただくことになります。
また、伴奏者が必要な方は各自ご用意ください。

【オーディションの日程】

令和元年6月22日(土)午後2時～学年順により演奏
(演奏順は変更できません)

【申込方法】

氏名・学年・住所・電話FAX番号・演奏曲目(作曲者名)・演奏時間・演奏楽器名をお書きの上、5月30日(木)までに参加費を添えて自泉会館へお持ちいただくか、現金書留でお申し込みください。
お申込みいただいた方には、6月10日(月)までにオーディションの案内を郵送いたします。

【申込み・問い合わせ】

岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館 内
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp



vol.63

発行：岸和田文化事業協会

発行日：2019年4月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小島栄子・黒木幸子・小末元恵

編集後記...

あと数日で「令和」の年がスタートします。
『人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つ』
が新年号の意味だそうです。
私たちの活動にピッタリの元号だと、ひそかに喜びました。
(小 島)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

